



つなぎ つむぐ

☆☆☆☆☆☆☆☆ 「えべつ型コミュニティ・スクール」

令和8年7月21日

第78号

江別市教育委員会

総務課・学校教育課

小中9年間の系統的な指導や中学校区の授業改善のために ～野幌中学校区 野幌若葉小の学校教育指導への参加～

野幌中学校区では、今年度から小中9年間の「系統的な指導」を推進するための1つの方法として、各学校の研修会にお互いが参加し合い、校内研究の内容や授業改善の様子等について交流を行う取組を始めました。

6月24日（水）には、野幌若葉小の学校教育指導訪問に中学校区内の先生方が数名参加し、算数の授業を参観しました。授業単元は「割合の表し方を調べよう」です。問題づくりや発問を工夫する、オクリンクを活用する等、様々な場面で工夫が見られ、子どもたちは主体的に学びを深めていました。

他校から参加した先生方は、事後研究会にも参加し、授業者が児童の「資質・能力の育成」を大切に、意識しながら授業づくりをしていることや小・中学校で行われている授業改善の工夫についても交流することができました。

また、「つなぎ つむぐ」第76号で紹介しました野幌中吹奏楽部による「ふれあいコンサート」が7月3日（金）に東野幌小でも行われました。小学校の子どもたちは、素敵な演奏を披露してくれる中学生の姿を食い入るように見つめていました。



小学6年生 特設授業の様子



研究協議の様子



東野幌小でのふれあいコンサート

中学校の学習を体験する取組、挨拶の輪を広める取組

～大麻東中学校区 中学校の先生の乗り入れ授業とリモート挨拶運動～

大麻東中学校区で6月16日（火）と22日（月）に中学校の先生による乗り入れ授業の取組が行われました。実施された教科は大麻泉小が理科、大麻東小が数学科です。

大麻泉小では、「中学校理科の紹介」という題材で授業が行われ、子どもたちは、理科の4分野（物理・化学・生物・地学）について、それらの概要を学びました。静電気の伝わり方や、水素と酸素が反応することによる「化学変化」等を簡単な実験を通して体験すると、子どもたちからは驚きの声や歓声があがり、興味津々の様子で授業を受けていました。



理科の乗り入れ授業（大麻泉小）

大麻東小では、「文字式の利用～数あてマジックのしくみを考えよう～」という題材で授業が行われました。子どもたちは、問題解決を通して数学の不思議さや文字式のメリットについて学んでいました。個人思考や友達との対話を通して、深く考え、意見を交流する様子は、中学校での学びに通じるものでした。

乗り入れ授業の取組は、中学校の先生の専門的な指導を受けることで、その教科の楽しさに触れることができ、さらに進学に向けての意欲を高める効果があります。今回の授業はまさにその効果が十分に感じられるものとなっていました。

また、大麻東中学校区では、6月24日（水）と26日（金）にオンラインで小学校と中学校を結び、「リモート挨拶運動」を行いました。3校（大麻東小、大麻泉小、大麻東中）は、少し離れていて合同での挨拶運動が難しいため、リモートによる大型ディスプレイ越しの挨拶運動を展開しています。通常とは違う方法であることが逆に新鮮で、子どもたちの挨拶への意識を高めることに役立っています。



数学科の乗り入れ授業（大麻東小）



大麻泉小での挨拶運動



大麻東小での挨拶運動



大麻東中での挨拶運動

CS や地学協働活動の情報発信を通じて支援の輪を広げる！ ～文京台小 サポートーズ・プレス～

文京台小 CS では、今年度から地域ボランティアや学生ボランティア、PTA 等、子どもたちの学びや成長を支えていただいている方々の活動を紹介し、新たな支援の輪を広げる広報誌「文京台小 サポートーズ・プレス」を作成しています。これまで発行された誌面の内容は、「見守りボランティア活動の紹介」「読み聞かせ・図書室整備ボランティア活動の紹介」「北翔大と連携した『走り方教室』の開催」「PTA 環境委員の活動」「北翔大学生による運動会や新体カテストへの支援」「PTA 広報委員会の活動」等です。

文京台小は、3つの大学と1つの高校、北海道埋蔵文化財センター、北海道立図書館等の研究機関がある文教地区にあります。また、今年で開校40周年を迎えていますが、開校当初から文京台地区の方々の深い愛着と大きな期待を背負って学校経営が行われてきました。そのような中、様々な方々の支援や協力によって子どもたちの学習の充実を図ってきています。

文京台小 CS では、「サポートーズ・プレス」を情報の共有・発信の1つの手段・方法として活用し、地域の施設や地域住民の方々の学校教育活動への理解を促進しつつ、さらに支援・協力の輪を広げていくことを目指しています。

令和8年4月24日1号：文京台小学校学校運営委員会事務局発行

文京台小サポートーズ・プレス

子どもたちの笑顔と安全を地域で守る
～見守りボランティア活動のご紹介～



1. 温かい「一声」が子どもたちの安心に

文京台小学校の教育活動では、学校・PTA・コミュニティスクール（CS）が密に連携し、年間を通して子どもたちの豊かな学びと安全を見守っています。今回ご紹介する、登下校の安全を支える「街頭指導ボランティア隊（見守り隊）」は、結成から20年を超える伝統ある活動です。

見守りボランティアの活動は、登下校の時間帯に通学路の指定場所や各家庭の近くに立ち、子どもたちを見守ります。登校時（7:40～8:10頃）や、学年ごとの下校時刻に合わせて活動します。「おはようございます」「さようなら」といった挨拶を交わすことで、子どもたちに安心感を与えます。



2. 活動の現場から

隊員募集中！

「元気に笑顔で挨拶を返してくれる1年生。その姿に、私たち日々パワーをもらっています。先日、集団下校2日目のことでした。なかなか横断歩道にやっこない班があり様子を見に行くと、緊張と疲れからか、途中で体調を崩して立ち止まってしまった子がいました。幸いこの日は見守り隊が揃ったため、手分けして体調不良の子をサポートしつつ、他の子どもたちの安全も確保することができました。顔見知りのお子さんだったこともあり、ご挨拶ともスムーズに連絡が取れ、無事に送り届けることができて本当に良かったです。先生お一人では対応が難しかったはずなので、居合わせて正解だったと実感しました。」

「4月から単独で登下校し始めた2年生は、開校時から道路へ飛び出してしまう「ヒヤリ」とする場面も見受けられます。ご家庭でも、改めて「止まって、左右を確認してから渡る」という基本ルールの確認をお願いいたします。」

玄関先での声かけだけでも十分な活動です。保護者の輪を広げながら、子どもたちの安心を支えませんか？無理のない範囲でのご参加、お待ちしております。

【担当】文京台小学校学校運営委員会事務局：教頭